3 月のおたより

阿部任（じん）さん（29）は東日本大震災当時、高校 1 年生。3 月 11 日は当時 90 歳になる祖母と石巻市の実家にいて突然大きな地震に襲われました。学校では日ごろから「宮城県沖地震が迫っている」と教えられていました。「あ、ついに来たんだ」。揺れが収まって外に出ると崩れた家などは見当たらないので「たいしたことなかった」と安心していました。

約 50 分後、「もう来ないな」と思っていたところに水の塊が襲い、家ごと持ち上げられ、気がつくと折り重なったがれきに囲まれ、祖母と 2 人、部屋に閉じ込められてしまいました。発見されたのはそれから 9 日後。「奇跡の救出」として速報が世界中を駆け巡りました。

災害が起きたとき、逃げ遅れてしまう人間心理のバイアス（偏り・先入観）が働くと言われています。そのひとつが「正常性バイアス」。異常なことが起きても心を正常に保とうとする心理で、例えば地震に慣れている日本人は、震度 5 程度の地震が起きても「これくらいならまだ大丈夫」と思ってしまう傾向があるようです。災害時はこの正常性バイアスが作動して、警報や避難指示を軽視し避難が遅れてしまうのです。危険を感じたときにはまず命を守るための判断と行動をすることが重要だということです。

最近は大きな台風や地震などが発生するとテレビやスマホの緊急速報で「命を守る行動を！」と呼びかけます。ただし具体的にどうすればいいかは、各地域、各家庭で異なります。我が家はどうすべきか、いまこそ考えておくようにしたいものです。

今月の月例会は、そうした日ごろの防災意識を高めるため、特に防災弱者、福祉避難所など、私たち家族会にとって他では聞けない身近な情報について、専門家のアドバイスを頂こうと思います。ぜひご参加ください。　（K）

＜3 月度学習会＞
・日時：3 月 30 日（土）13：30～菜の花ホール（館山市北条 1735）
・ビデオ「避難できない～ひきこもりの葛藤～」（25 分）
・防災講座　館山市危機管理課
・質疑応答
・グル―プワーク…今月のテーマに沿って少人数による語らいの場を設けています。ご家庭の事情などを考慮した具体的な質問ができます。

当日のご出欠をあらかじめご連絡ください。090-2335-1338 加藤＝ショートメール可

特定非営利活動法人あわの風　千葉県館山市北条 1170-3　電話：0470-22-1390